

為替相場展望

2011年8月

 株式会社 日本総合研究所

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/thinktank/research/>

【目 次】

為替相場概説	1
為替関連指標の動向	2～5
トピックス	6
見通し	7
資料	

◆本資料は2011年8月1日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆本資料に関するご照会は、下記あてお願いいたします。

欧米経済・市場動向グループ

牧田 (Tel : 03-3288-4244 Mail : makita.takeshi@jri.co.jp)
井上(肇) (Tel : 03-3288-5314 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

為替相場概説 (2011年8月)

1. 先月の為替相場の動き

<ドル・円相場>

7月のドル円相場は、①弱い雇用統計を受けた米国の景気減速懸念、②米FRB議長による追加金融緩和(QE3)の可能性示唆、③欧州の債務問題深刻化を受けたリスク回避の動き、等から、中旬にかけて円高ドル安が進行。その後も、米国の連邦債務上限引き上げ協議の難航等を受け、月末にかけてドル安が加速。月末は76円台後半。

<ユーロ・円相場>

7月のユーロ円相場は、ECBの利上げ観測等から、月初は小高く始まったものの、欧州の債務問題がスペインやイタリアに波及するなか、12日に一時109円台までユーロ安が進行。その後、21日の欧州首脳によるギリシャへの追加支援合意を受け、ユーロが一旦持ち直したものの、ギリシャ国債の格下げや低調なユーロ圏指標を受け、月末にかけて再びユーロが弱含み。月末は110円台後半。

2. 為替関連指標の動向

<日米独金利差>

米独2年債利回りともに、中旬にかけて低下した後、一旦上昇したものの、月末に再び低下。その間、日本の2年債利回りは米国にほぼ連動した動き。先行きについては、米欧ともに景気減速懸念が強まっているほか、欧州では原油高一服を受けたインフレ圧力の低減により、ECBによる追加利上げ観測が大きく後退しており、米欧ともに金利先高観が薄れている状況。金利差の観点からみれば、円安進行余地は限られる見通し。

<日米欧の生産と貿易収支>

米欧の生産の回復が頭打ちとなる一方、わが国の生産は急速に回復。生産の回復に連動して、輸出のマイナス幅が縮小したため、わが国の6月の貿易収支(原数値)は、3ヵ月ぶりに黒字転換。震災後の貿易赤字転落が主要な円安材料となっただけに、黒字化は先行きの円安期待の後退を示唆。一方、米の5月貿易収支は赤字拡大、ユーロ圏経常収支は赤字基調で推移。日米欧の貿易収支、経常収支面からは、円安には振れにくい情勢。

<日本の対内対外証券投資動向>

足元にかけて対内証券投資の増勢が続く一方、対外証券投資は低調に推移しているため、円高を後押し。対内証券投資が高水準で推移する限り、あるいは、対外証券投資が活発化しない限り、円高地合いが続く公算大。

<米国の証券投資・IMM通貨先物>

海外からの対米証券投資は、2011年入り以降、資金流入ペースが鈍化する一方、米国からの対外証券投資は、資金流出ペースが加速。米国の投資収支(証券投資)面からは、ドル安が進みやすい状況。今後、米国債の格下げ懸念が熾り続けば、米国債離れが進み、ドル安が加速するリスクも。

投機筋の動向を示すIMM通貨先物取引(非商業部門)の円ポジションは、円の買い持ち超が歴史的な水準に拡大。追加の円買い余力は乏しく、円高進行余地は限られる見込み。ユーロポジションは、ユーロの買い持ち超が縮小。当面ユーロの下値余地は限られ、むしろユーロ反発余地が拡大。

3. トピックス

<外為証拠金取引の動向>

個人投資家の動向を示す外為証拠金取引の円売り持ち超が過去最高水準まで膨張。ポジションの解消を余儀なくされれば、一時的とはいえ、予想以上に円高が加速する可能性も。

4. 見通し

<ドル・円相場>

政府・日銀による円売り介入への警戒感から、円高進行余地は限られるとみられるものの、秋口にかけて円高地合いが続く見通し。米国の債務上限引き上げ問題は解決に向かって進んでいるものの、債務上限が引き上げられても、米国債の格下げ懸念は残存。加えて、米国をはじめとした世界的な景気減速懸念もあり、円高地合いから容易には抜け出せない見通し。欧州の債務問題も折に触れ、リスク回避の動きを通じて円高に作用し続ける公算大。

秋口以降は、米国景気が持ち直しに転じるのに伴い、円高地合いに歯止めがかかる見込み。もっとも、米国経済の力強い拡大や早期利上げが期待薄のなか、ドルの反発余地は限られる見通し。

<ユーロ・円相場>

ユーロ圏での景気減速に加え、原油高一服を受けたインフレ圧力の低減により、ECBによる追加利上げ観測が大きく後退するなか、当面円高地合いが続く見通し。域内の債務問題も、抜本的な解決が先送りされるなか、一旦沈静化しても程なく懸念が再燃する展開が繰り返され、折に触れてユーロ安に作用する見込み。加えて、年度後半は、復興需要顕在化等によるわが国の景気回復ペースの加速も円高ユーロ安に作用する見通し。もっとも、日銀による低金利政策の長期化等から、ユーロ安進行余地は限られる見込み。

米欧の金利先高観が薄れるなか、金利差からは円安進行余地は限られる見通し。

〈日米独2年債利回り〉

米2年債利回りは、米国の景気減速懸念を受け、中旬にかけて低下。その後、米国の債務上限引き上げ協議が難航するなか、デフォルト懸念や格下げ懸念から一旦上昇したものの、低調な米4～6月期GDP(速報)を受け、月末に急低下。独2年債利回りは、欧州の債務問題深刻化を受け、逃避資金が流入し、中旬にかけて低下。その後、21日の欧州首脳によるギリシャへの追加支援合意を受け、一旦上昇したものの、信用不安が払拭されないなか、月末にかけて再び低下。その間、日本の2年債利回りはは米国にほぼ連動した動き。

〈米日2年債利回り格差とドル円相場〉

利回り格差に連動し、中旬にかけてドル安が進行。その後、利回り格差が拡大したものの、リスクプレミアム増大による面が大きく、ドル高には反応せず、むしろドル安が一段と進行。

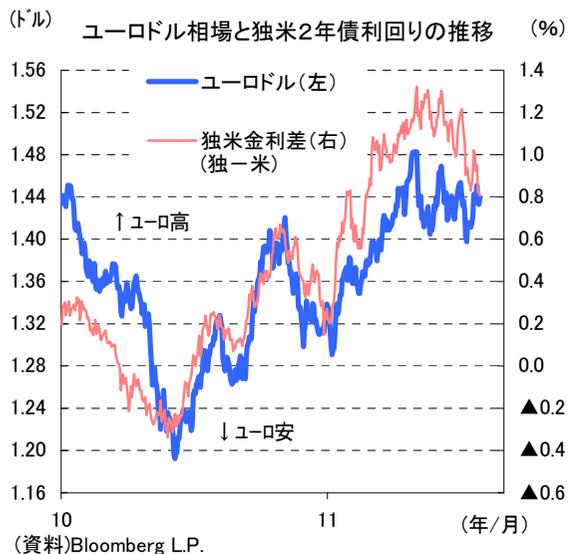
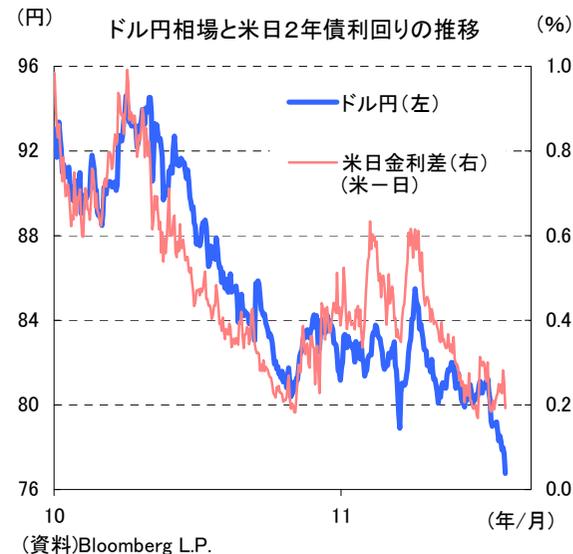
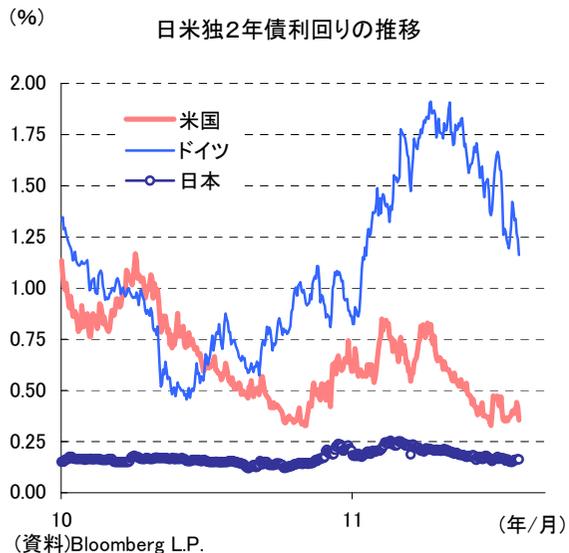
〈独米2年債利回り格差とユーロドル相場〉

利回り格差に連動し、中旬にかけてユーロ安が進行。その後一旦持ち直したものの、月末にかけては再びユーロが反落。

〈独日2年債利回り格差とユーロ円相場〉

利回り格差に連動し、中旬にかけてユーロ安が進行。その後一旦持ち直したものの、月末にかけては再びユーロが反落。

先行きについては、米欧ともに景気減速懸念が強まっているほか、欧州では原油高一服を受けたインフレ圧力の低減により、ECBによる追加利上げ観測が大きく後退しており、米欧ともに金利先高観が薄れている状況。金利差の観点からみれば、円安進行余地は限られる見通し。



貿易収支、経常収支面からは、円安には振れにくい情勢。

〈日米欧の生産〉

米欧の生産の回復が頭打ちとなる一方、わが国の生産は急速に回復。自動車を中心にサプライチェーンの復旧が進んでいることが主因。

〈わが国の貿易収支〉

生産の回復に連動して、輸出のマイナス幅が縮小したため、6月の貿易収支(原数値)は、3ヵ月ぶりに黒字転換。季節調整値では依然と赤字ながら、震災後の貿易赤字転落が主要な円安材料となっただけに、黒字化は先行きの円安期待の後退を示唆。

夏場以降、わが国輸出の前年比プラス定着が視野に入るなか、輸出企業による円買い需要が円安抑制要因となる見込み。

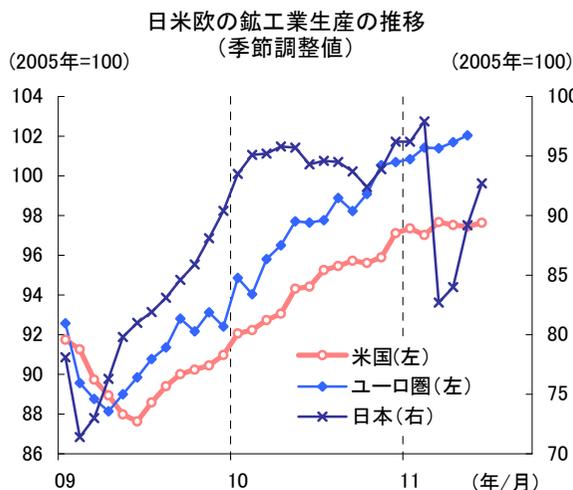
〈米国の貿易収支〉

5月の貿易収支は、原油価格の高騰等を反映して、赤字幅が2008年10月以来の高水準に急拡大し、ドル安を後押し。

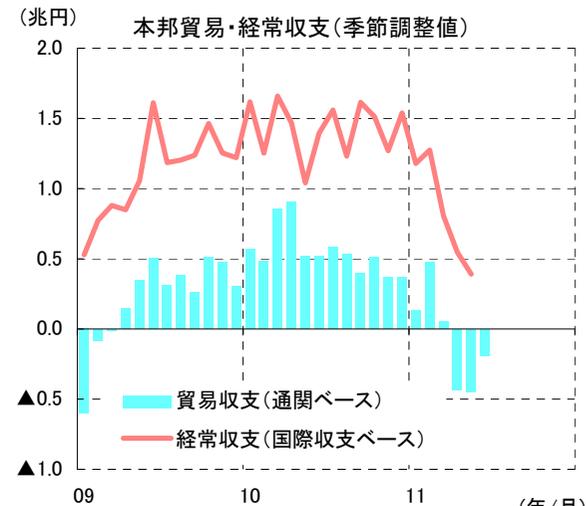
〈ユーロ圏の経常収支〉

ユーロ圏の経常収支は、2010年春以降赤字基調で推移し、ユーロ安を後押し。

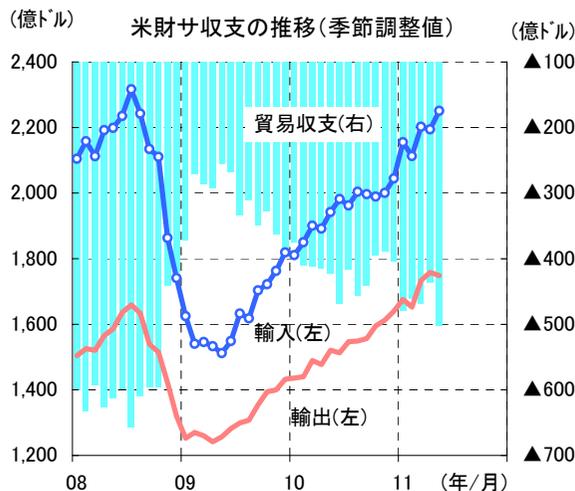
以上を踏まえると、日米欧の貿易収支、経常収支面からは、円安には振れにくい情勢。



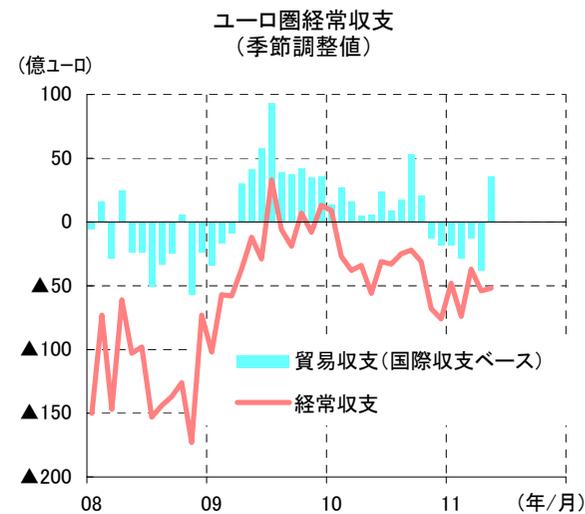
(資料)経済産業省、米FRB、Eurostat
(注)ユーロ圏は除く建設。



(資料)財務省



(資料)米商務省



(資料)ECB

日本の投資収支(証券投資)は対内増加・対外低調で円高地合い。

〈地域別対内対外証券投資〉

対内証券投資は年明け以降、資金流入超が持続。世界的にみた日本株の割安感から株式投資が増加しているほか、中長期債投資も低金利にもかかわらず増加。

一方、対外証券投資は震災以降低調に推移。震災をきっかけとした手元流動性確保の必要性や、米国の景気減速懸念や欧州の債務問題拡大懸念などを受けたりスク回避姿勢の強まり等が対外証券投資抑制に作用している公算大。

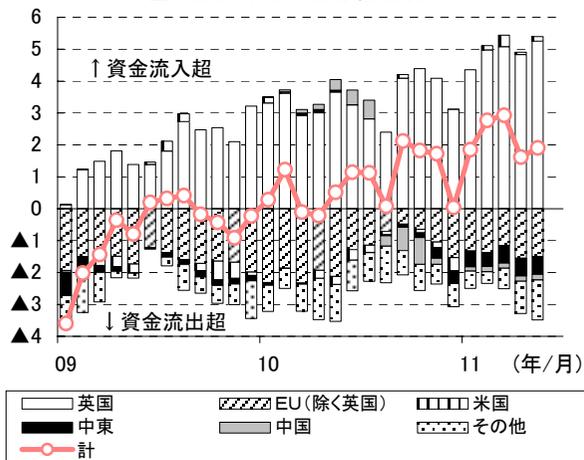
〈週次対内対外証券投資〉

対内証券投資は、6月以降売り越し(資金流出超)が頻発したものの、6月末から買い越し(資金流入超)傾向に転換。一方、対外証券投資は、低調が持続。

2009年以降、対内証券投資が増加すると円高、停滞すると円安、逆に、対外証券投資が停滞すると円高、増加すると円安となるなど、証券投資による資金流入がドル円相場に強く影響。足元にかけて対内証券投資の増勢が続く一方、対外証券投資は低調に推移しているため、円高を後押し。

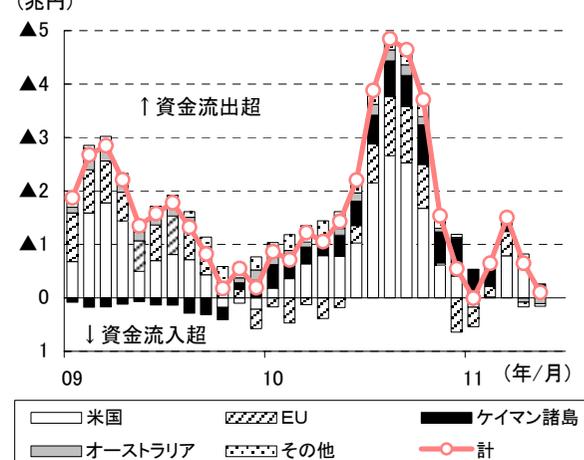
対内証券投資が高水準で推移する限り、あるいは、対外証券投資が活発化しない限り、円高地合いが続く公算大。

国・地域別対内証券投資動向



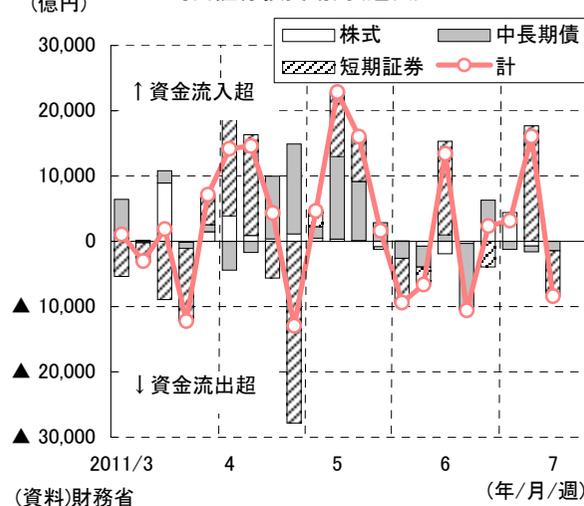
(資料)日銀、財務省
(注)いずれも3ヵ月移動平均値。

国・地域別対外証券投資動向



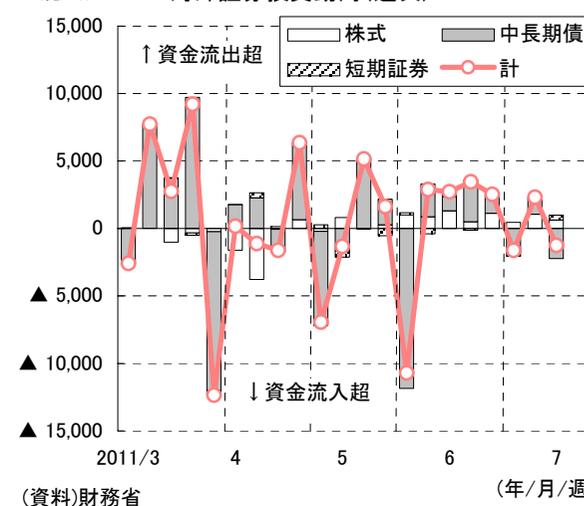
(資料)日銀、財務省
(注)いずれも3ヵ月移動平均値。

対内証券投資動向(週次)



(資料)財務省

対外証券投資動向(週次)



(資料)財務省

米国の投資収支(証券投資)面からはドル安が進みやすい状況。投機筋の円買い余力は低下。

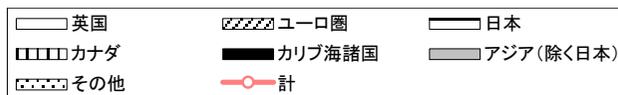
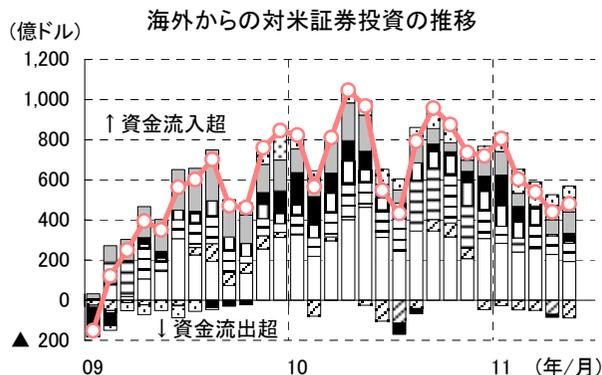
〈米国の対内対外証券投資動向〉

海外からの対米証券投資は、2009年春以降、資金流入超が持続しているものの、2011年入り以降、流入ペースは鈍化。一方、米国からの対外証券投資は、2011年入り以降、資金流出ペースが加速。このため、米国の投資収支(証券投資)面からは、ドル安が進みやすい状況。今後、米国債の格下げ懸念が熾り続ければ、海外投資家の米国債離れが進み、ドル安が加速するリスクも。

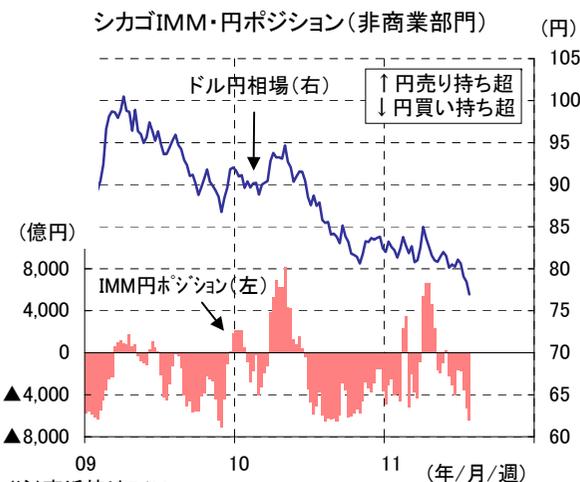
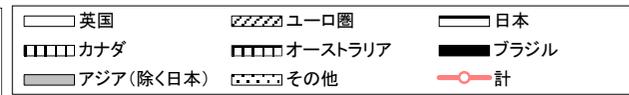
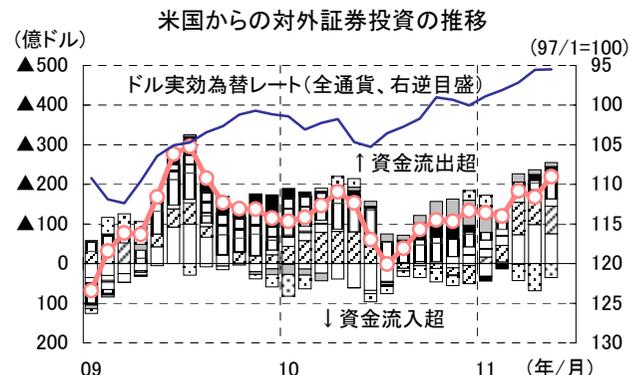
〈IMM通貨先物ポジション〉

投機筋の動向を示すIMM通貨先物取引(非商業部門)の円ポジションとドル円相場の関係を見ると、円の買い持ちが増加するほど、円高が進行するという関係。円ポジションは、7月26日時点で円の買い持ち超が2010年9月以来、約10ヵ月ぶりの高水準まで拡大。追加の円買い余力は乏しく、円高進行余地は限られる見込み。

ユーロポジションとユーロドル相場の関係も、ユーロの買い持ちが増加するほど、ユーロ高が進行するという関係。ユーロポジションは、7月26日時点でユーロの買い持ち超が大幅に縮小。当面ユーロの下値余地は限られ、むしろユーロ反発余地が拡大。



(資料)米財務省
(注)いずれも3ヵ月移動平均値。



(資料)米財務省、FRB
(注)対外証券投資は3ヵ月移動平均値。

(注)直近値は7/26。
(資料)米CFTC

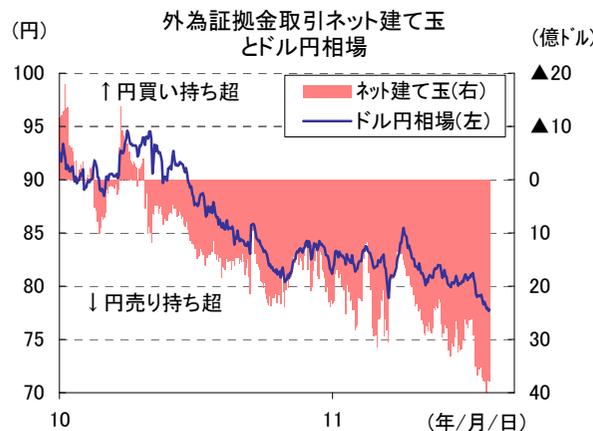
(注)直近値は7/26。
(資料)米CFTC

外為証拠金取引の円売り持ち超が過去最高水準まで膨張。ポジションの解消を余儀なくされれば、円高が一時的に加速する可能性も。

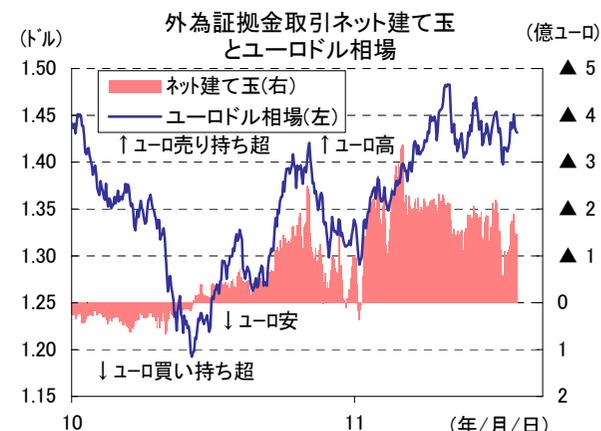
投機筋の動向を示す IMM通貨先物取引(非商業部門)の円の買い持ちポジションが拡大する一方、わが国の個人投資家の動向を示す外為証拠金取引の円売り持ちポジションは、7月26日に39.9億ドルと、過去最高水準まで膨張。ユーロポジションでも、投機筋がユーロ買い持ち超となる一方、個人投資家はユーロ売り持ち超となるなど、ほぼ対照的。

足元にかけて投機筋が円高が進むほど、一段の円高を期待して円買いを強める「順張り」の投資行動をとっているのに対し、わが国の個人投資家は円高が進むほど、円安に反転することを期待して円売りを強める「逆張り」の投資行動をとっている状況。

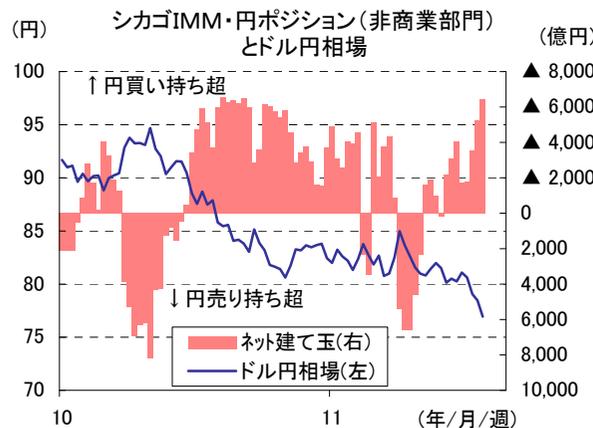
個人投資家の「逆張り」の投資行動は、足元にかけての円高圧力の緩和に一定の貢献をしてきた可能性があるものの、個人投資家の外為証拠金取引の円売り持ちポジションが膨らむなか、円売り持ちポジションの解消を余儀なくされれば、一時的とはいえ、予想以上に円高が加速する可能性も。また、円安進行時には、利益確定の動きが大幅な円安進行を阻む要因に。



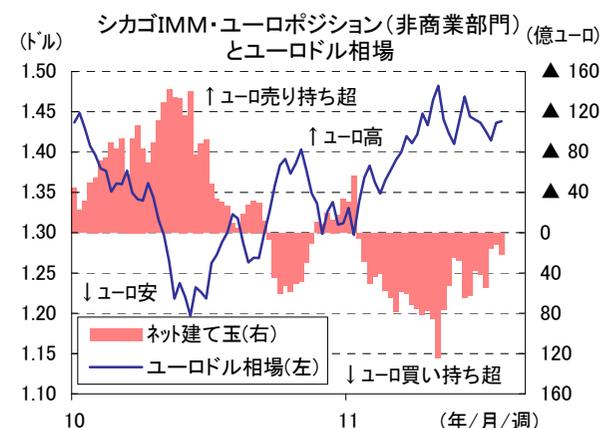
(注)直近値は7/29。
(資料)東京金融取引所



(注)直近値は7/29。
(資料)東京金融取引所



(注)直近値は7/26。
(資料)米CFTC



(注)直近値は7/26。
(資料)米CFTC

見通し

当面、対ドル・対ユーロともに円高地合いが持続する見通し。

<ドル・円相場の見通し>

政府・日銀による円売り介入への警戒感から、円高進行余地は限られるとみられるものの、秋口にかけて円高地合いが続く見通し。米国の債務上限引き上げ問題は解決に向かって進んでいるものの、債務上限が引き上げられても、米国債の格下げ懸念は残存。加えて、米国をはじめとした世界的な景気減速懸念もあり、円高地合いから容易には抜け出せない見通し。欧州の債務問題も折に触れ、リスク回避の動きを通じて円高に作用し続ける公算大。

秋口以降は、米国景気が持ち直しに転じるのに伴い、円高地合いに歯止めがかかる見込み。もっとも、米国経済の力強い拡大や早期利上げが期待薄のなか、ドルの反発余地は限られる見通し。

<ユーロ・円相場の見通し>

ユーロ圏での景気減速に加え、原油高—服を受けたインフレ圧力の低減により、ECBによる追加利上げ観測が大きく後退するなか、当面円高地合いが続く見通し。域内の債務問題も、抜本的な解決が先送りされるなか、一旦沈静化しても程なく懸念が再燃する展開が繰り返され、折に触れてユーロ安に作用する見込み。加えて、年度後半は、復興需要顕在化等によるわが国の景気回復ペースの加速も円高ユーロ安に作用する見通し。もっとも、日銀による低金利政策の長期化等から、ユーロ安進行余地は限られる見込み。

ドル円相場見通し

	2011年			2012年	
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6
期中平均	81.67	80	81	82	82
(高値)	85.53	84	86	86	86
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	79.57	76	76	78	78

予測

ユーロ円相場

	2011年			2012年	
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6
期中平均	117.6	115	113	112	112
(高値)	123.3	118	118	118	118
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	113.4	108	108	106	106

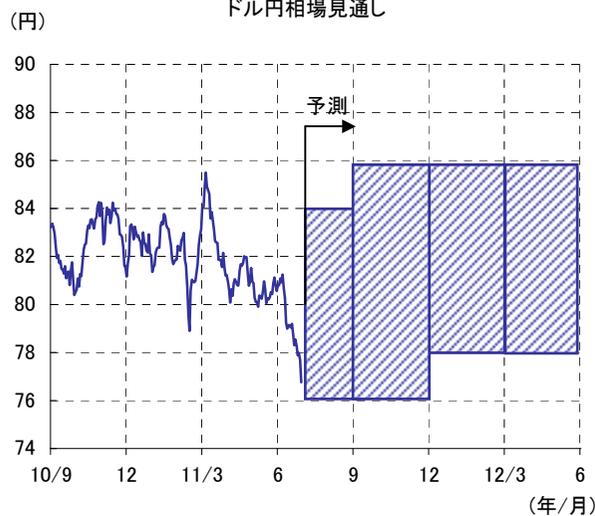
予測

ユーロドル相場

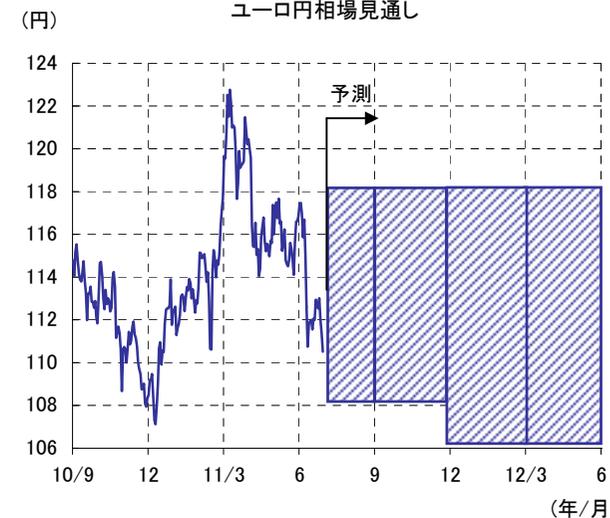
	(ドル)				
期中平均	1.44	1.43	1.40	1.37	1.36
(高値)	1.49	1.49	1.46	1.43	1.42
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	1.40	1.37	1.34	1.31	1.30

予測

ドル円相場見通し



ユーロ円相場見通し



内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債 10年物 (%)	プライムレート		為替相場		日経平均 株価 (円)	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担0/N (%)	3カ月 (%)	6カ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)		短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur		F F 0/N	1-03カ月	10年国債	N Yダウ 工業株	1-03カ月	10年国債
07/12	0.75	0.497	0.86	0.91	0.97	1.24	1.70	1.53	1.875	2.30	112.34	163.50	15545.07	4.22	5.17	4.09	13406.99	4.85	4.24
08/1	0.75	0.502	0.85	0.89	0.83	1.09	1.60	1.42	1.875	2.10	107.66	158.14	13731.31	3.93	3.93	3.72	12538.12	4.48	4.05
08/2	0.75	0.504	0.85	0.88	0.89	0.96	1.64	1.44	1.875	2.15	107.16	158.18	13547.84	2.97	3.12	3.73	12419.57	4.36	3.96
08/3	0.75	0.511	0.86	0.89	0.92	1.08	1.51	1.30	1.875	2.10	100.79	156.28	12602.93	2.60	2.85	3.48	12193.88	4.60	3.81
08/4	0.75	0.506	0.84	0.88	0.98	1.16	1.59	1.41	1.875	2.10	102.49	161.53	13357.70	2.26	3.02	3.64	12656.63	4.78	4.05
08/5	0.75	0.505	0.84	0.88	1.18	1.47	1.87	1.67	1.875	2.40	104.14	162.05	13995.33	1.99	2.84	3.87	12812.48	4.86	4.20
08/6	0.75	0.509	0.84	0.89	1.30	1.62	1.99	1.75	1.875	2.45	106.90	166.23	14084.60	2.00	2.95	4.08	12056.67	4.94	4.55
08/7	0.75	0.503	0.85	0.90	1.18	1.44	1.82	1.60	1.875	2.40	106.81	168.35	13168.91	2.02	3.00	3.97	11322.38	4.96	4.50
08/8	0.75	0.504	0.85	0.89	1.01	1.26	1.66	1.45	1.875	2.25	109.28	163.75	12989.35	1.99	3.00	3.88	11530.75	4.96	4.22
08/9	0.75	0.495	0.85	0.90	1.05	1.31	1.69	1.48	1.875	2.30	106.75	153.25	12123.53	1.86	3.95	3.68	11114.08	5.02	4.10
08/10	0.50	0.487	0.88	0.91	1.02	1.27	1.55	1.50	1.875	2.35	100.33	133.49	9117.03	1.01	5.31	3.78	9176.71	5.11	3.90
08/11	0.50	0.301	0.82	0.86	0.89	1.13	1.48	1.46	1.675	2.40	96.81	123.25	8531.45	0.39	3.11	3.46	8614.55	4.23	3.57
08/12	0.30	0.211	0.86	0.88	0.85	1.02	1.32	1.31	1.675	2.40	91.28	122.79	8463.62	0.17	2.47	2.40	8595.56	3.29	3.06
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06
09/4	0.30	0.104	0.62	0.72	0.75	0.99	1.39	1.44	1.475	2.30	99.00	130.50	8767.96	0.15	1.49	2.90	7992.12	1.42	3.19
09/5	0.30	0.102	0.58	0.70	0.69	0.94	1.36	1.44	1.475	2.10	96.30	131.92	9304.43	0.17	1.23	3.30	8398.37	1.28	3.42
09/6	0.30	0.104	0.56	0.68	0.68	0.92	1.41	1.47	1.475	2.10	96.52	135.46	9810.31	0.21	1.07	3.70	8593.00	1.23	3.55
09/7	0.30	0.102	0.56	0.67	0.62	0.86	1.37	1.34	1.475	1.90	94.50	133.00	9691.12	0.16	0.91	3.53	8679.75	0.95	3.36
09/8	0.30	0.106	0.55	0.66	0.60	0.88	1.46	1.37	1.475	1.95	94.84	135.40	10430.35	0.16	0.69	3.57	9375.06	0.83	3.33
09/9	0.30	0.102	0.53	0.65	0.56	0.83	1.41	1.31	1.475	1.80	91.49	132.80	10302.87	0.15	0.53	3.39	9634.97	0.73	3.29
09/10	0.30	0.106	0.53	0.64	0.58	0.86	1.47	1.33	1.475	1.70	90.29	133.87	10066.24	0.12	0.49	3.36	9857.34	0.69	3.23
09/11	0.30	0.105	0.52	0.63	0.56	0.83	1.48	1.35	1.475	1.85	89.19	132.98	9640.99	0.12	0.45	3.38	10227.55	0.67	3.28
09/12	0.30	0.101	0.47	0.59	0.48	0.71	1.39	1.26	1.475	1.65	89.55	130.95	10169.01	0.12	0.45	3.59	10433.44	0.67	3.23
10/1	0.30	0.096	0.45	0.57	0.48	0.72	1.42	1.33	1.475	1.65	91.16	130.30	10661.62	0.12	0.43	3.71	10471.24	0.63	3.29
10/2	0.30	0.101	0.44	0.56	0.47	0.72	1.41	1.33	1.475	1.65	90.28	123.58	10175.13	0.13	0.40	3.68	10214.51	0.60	3.19
10/3	0.30	0.097	0.44	0.55	0.46	0.71	1.40	1.34	1.475	1.60	90.52	122.96	10671.49	0.16	0.40	3.71	10677.52	0.59	3.13
10/4	0.30	0.093	0.41	0.52	0.47	0.72	1.40	1.35	1.475	1.65	93.38	125.57	11139.77	0.20	0.40	3.82	11052.15	0.59	3.09
10/5	0.30	0.091	0.39	0.50	0.48	0.69	1.34	1.27	1.475	1.60	91.74	114.68	10103.98	0.20	0.49	3.40	10500.19	0.63	2.80
10/6	0.30	0.095	0.39	0.50	0.47	0.65	1.27	1.20	1.475	1.45	90.92	110.99	9786.05	0.18	0.61	3.19	10159.25	0.66	2.63
10/7	0.30	0.094	0.37	0.49	0.45	0.59	1.16	1.09	1.475	1.45	87.72	111.81	9456.84	0.18	0.61	2.98	10222.24	0.79	2.65
10/8	0.30	0.095	0.37	0.49	0.43	0.54	1.04	0.98	1.475	1.45	85.47	110.36	9268.24	0.19	0.51	2.68	10350.40	0.83	2.37
10/9	0.30	0.090	0.36	0.47	0.41	0.55	1.13	1.06	1.475	1.45	84.38	109.94	9346.72	0.20	0.43	2.64	10598.07	0.83	2.34
10/10	0.30	0.091	0.34	0.45	0.38	0.47	0.97	0.89	1.475	1.30	81.87	113.65	9455.09	0.19	0.40	2.51	11044.49	0.94	2.37
10/11	0.30	0.091	0.34	0.45	0.40	0.55	1.12	1.05	1.475	1.40	82.48	112.64	9797.18	0.20	0.40	2.75	11198.31	0.98	2.56
10/12	0.30	0.087	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.19	1.475	1.60	83.41	110.28	10254.46	0.18	0.39	3.28	11465.26	0.95	2.96
11/1	0.30	0.085	0.34	0.45	0.41	0.64	1.27	1.21	1.475	1.50	82.63	110.53	10449.53	0.17	0.39	3.36	11802.37	0.95	3.05
11/2	0.30	0.093	0.34	0.45	0.43	0.71	1.34	1.28	1.475	1.65	82.53	112.70	10622.27	0.16	0.41	3.56	12190.00	1.04	3.23
11/3	0.30	0.085	0.34	0.45	0.40	0.64	1.29	1.25	1.475	1.60	81.79	114.48	9852.45	0.14	0.42	3.40	12081.48	1.13	3.25
11/4	0.30	0.062	0.33	0.44	0.39	0.65	1.32	1.27	1.475	1.70	83.35	120.34	9644.63	0.10	0.40	3.43	12434.88	1.27	3.35
11/5	0.30	0.069	0.33	0.44	0.37	0.56	1.19	1.14	1.475	1.55	81.23	116.03	9650.78	0.09	0.38	3.15	12579.99	1.38	3.11
11/6	0.30	0.069	0.33	0.44	0.37	0.54	1.15	1.13	1.475	1.50	80.51	115.82	9541.53	0.09	0.38	2.99	12097.31	1.43	2.97
11/7	0.30	0.073	0.33	0.44	0.37	0.53	1.13	1.11	1.475	1.50	79.47	113.52	9996.68	0.07	0.25	2.98	12515.68	1.54	2.78

(注) 公定歩合とプライムレートは月末値。